***Planning*デモ環境構築手順書２（サンプル帳票集出力編）**

スーパーストリーム株式会社　マーケティング企画部 技術支援課

最終更新日：2014年8月5日

***SuperStream-Planning*** は***SuperStream*-CORE**に蓄積されたマスタ情報、実績情報（勘定科目残高）、予算情報などの情報の取り込みを行って独自の分析キューブ構造を持ちます。ここから縦軸・横軸・レイヤーの表示内容や項目を、お客様の希望の切り口に合わせて自由に柔軟に指定しながら、定型および非定型の分析操作やレポート作成を行うことができます。デフォルトでは標準搭載のレポートは特にありませんが、簡単な操作でいくらでもレポートを追加作成できるのが特徴です。

PALに掲載されている「***Planning***サンプル帳票集」は、***Planning***で作成できるレポートのサンプルを示したものですが、その掲載レポートのうちの一部を、実際に***Planning***デモ環境から出力させるための設定と操作手順を解説するのが、この「***Planning***デモ環境構築手順書２」です。プリセールス段階のデモ実施などにご活用ください。

本ドキュメントにてデモ実施手順解説の対象とするレポートは以下の通りです。

・販管費予実

|  |  |
| --- | --- |
| **（前提） Planningデモ環境の構築**  まず、PAL掲載の「SuperStream-Planningデモ環境構築手順書1」に沿って構築されたSP20120630版のPlanningデモ環境が存在することが前提となります。なお、このPlanningデモ環境を構築するためにはSuperStream-COREのデモ環境も必要になりますので、合わせてご注意ください。 |  |
| **準備１．ExcelAddin for PowerPlayReportのインストール**  Planningデモ環境が存在する状態で、さらに「ExcelAddin for PowerPlayReport」が必要となります。  新規インストール時に自動で組み込まれますので右記のようにメニューに表示されていることをご確認ください。  なお、PowerPlay for Excelでは、設定した書式を保存しておくことができません。SuperStream-PlanningのキューブファイルデータをMicrosoftE x c e l 上に展開し、レポート生成などのために書式の変更を繰り返すときには、  「xlPla300.xla」というアドインソフトウェアを設定してください。PlanningインストールCD内「D:\Version3.4\bin\Addin」のフォルダ下にあります。導入手順については、同フォルダ内の「Addinツール導入手順.txt」を参照してください。 |  |
| **準備２．帳票サンプル用のPPRファイルとExcelファイルのコピー**  同梱のファイル一式を、PlanningのWorkフォルダにコピーして下さい。  通常は「C:\ssjPlanning\Work」がWorkフォルダとなっていますので、その下にコピーして下さい。  ・販管費予実.ppr  ・テンプレ**ート販管費予実.xls** | windows.jpg |
| 環境構築とファイルコピーが正しくできたかどうかを確認するために、Planingメニューの「レポート」→「レポート作成履歴」から、『販管費予実』を選択して開いてください。 |  |
| 右図のようなPlanningレポートが正しく表示されていれば成功です。  ※うまく表示されない場合は、前提条件のデモ環境構築が誤っている可能性があります。デモ環境構築手順を見直ししていただくか、または右図のイメージを参考に、新規のレポート作成機能を使って同等のレポートを新規作成し、それをppr形式で保存してください。 |  |
| **デモ　販管費予実レポートの作成**  Planingメニューの「レポート」→「PowerPlayReportのEXCEL変換」を選択してください。 |  |
| 右図のようなサブウィンドウが開きますので、「対象ファイル検索」を押してください。 | 予実対比.jpg |
| 右図のようなファイル検索ウィンドウが開きますので、さらに「参照」ボタンを押してフォルダの参照ウィンドウを開き、Planningのワークフォルダ（通常はC:\ssjPlanning\Work）を選択して「ＯＫ」ボタンを押してください。 |  |
| 右図のように、「販管費予実.ppr」の左にチェックをつけて、「実行」→「追加」を押してください。 |  |
| 右図の画面に戻った後、さらにチェックを忘れずにつけてください。  その後、保存フォルダ指定を押してください。 | 予実対比.jpg |
| 先ほどと同様にPlanningのワークフォルダ（通常はC:\ssjPlanning\Work）を選択して「ＯＫ」ボタンを押してください。 |  |
| 右図のように出力形式として「書式設定テンプレートシートを使用する」を選択し、「既存ファイル指定」を押してください。 | 予実対比.jpg |
| ファイル検索のウィンドウが開くので、右図のようにPlanningのワークフォルダ（通常はC:\ssjPlanning\Work）の下にある「テンプレート販管費予実.xls」を選択します。  その後、さらに「シートから選択」ボタンを押します。 | 予実対比.jpg |
| テンプレートExcelファイルが開くので、『Ｌ３』のセル（グレーになっているセル）を選択して、「ＯＫ」を押してください。 |  |
| 最後に、「エクスポート実行」ボタンを押してください。 | 予実対比.jpg |
| 実行が完了したら、できあがった「販管費予実.xls」ファイルを開いてください。 |  |
| 販管費予実レポートが完成しました。  右図のように、Planningから取得された実績や予算のデータがきちんと貼り付けられた形でレポートが完成していることを確認してください。  なお、実績が予算を超えている箇所が赤く表示されている部分は、Excelの「条件付き書式」という機能を活用しています。 | excel.jpg |

本ドキュメントで解説するサンプルレポート出力手順は以上としますが、同様の要領でさまざまな管理レポートがいくらでも柔軟に出力できることはお分かりになったと思います。

実際のお客様の業務要件に合わせて、応用していただければ幸いです。